

大崎上島町立木江中学校の実践の概要

時期	特別活動（学級活動）	総合的な学習の時間	道徳の時間	教科	行事・その他	キャリア発達にかかわる諸能力
1 学 期	2年生の目標を立てよう【ウ、エ】	オリエンテーション	個性の伸長 資料「虎」 【ウ、エ】	社会	入学式 生徒総会	ア人間関係 形成能力 イ情報活用 能力 ウ将来設計 能力 エ意思決定 能力
	進路を考えよう 学習計画作り【ウ】	職場体験に向けて 計画を立てよう 【イ】	社会奉仕 資料「加山さ んの願い」 【ア、ウ、エ】	美術 体育	木江地区大掃 除【ア、エ】 幼小中合同運 動会【ア、エ】	
	職業の意義や種類 について知ろう 【イ】【ウ】【エ】	社会人としてのマ ナーを学ぼう【ア】			職場体験学習 【ア、イ、ウ、 エ】	
2 学 期	敬老会でおもてなしの心を実践しよう【ア】	お礼の気持ちを伝えよう【ア、イ】	勤労の賞 資料「祖父の 元気のもと」 【ア、ウ】	国語	海浜清掃【ア】 敬老会【ア】	
	修学旅行を有意義なものにしよう【ア、イ】	郷土の産業を支える一に学ぼう【ア、イ、ウ】	社会連帯 資料「種をまいてもいいですか」【ア】		修学旅行【ア】	
	生徒会選挙について【ウ、エ】	職場体験学習発表会【ウ、エ】			教育フェスティバル文化祭【ア、イ、エ】	
3 学 期	将来の夢を語ろう【ウ】	まとめの冊子作成【イ、エ】	郷土愛 資料「アップロード作戦」【ア、ウ】		卒業式	
	入試制度について知ろう【イ、ウ、エ】					

実践報告にみる留意事項

1 教育課程の工夫

本校では総合的な学習の時間にキャリア講座として第1学年では地元にある事業所へ職場見学、第2学年で職場体験、第3学年では福祉体験と地域の特産であるみかんの栽培・販売体験を位置付け、系統的な取組みを行っている。

2 事前・事後指導の工夫

職場体験をとおして自己理解を深め、将来の生き方や働くということについて考えていくことをねらいとして事前・事後の学習を設定した。事前指導・職場体験で学んだマナーの成果を、敬老会で「おもてなしの心」として発揮させることで、人間関係形成能力を高める機会とした。

3 事前指導の主題の設定理由

事前指導ではマナー研修をとおして、職場体験の5日間は社会人の一員となることだという自覚を持たせる指導をした。

4 事後指導の主題設定の理由

職場体験やゲストティチャーを通して、「働く」ということが、「収入を得るため」だけでなく、仕事への喜びや生きがいとなっていることを、多くの生徒は漠然と理解しはじめています。本教材をとおして、道徳的な価値観へ高めさせるために主題を設定した。

5 生徒の反応・指導者のことば

「人は自分と他人のために働いていると思います。職場体験でお客様に喜んでもらえる自分も自然に笑顔になりました。」等の生徒の反応がみられた。働くことの意義について、多くの生徒が深く考えることができるようになってきた。ゲストティーチャーの話も事後に興味深く聞くことができた。

勤労の尊さについて考える（道徳）

〈事後学習〉

- (1) 単元名：勤労の尊さ、奉仕の精神 【内容項目】 4-(5)
 (2) ねらい：実体験としての職場体験学習と資料の登場人物の生き方を重ね合わせることで、勤労や奉仕が人間としての喜びをもたらすことを知り、生きがいのある人生をめざす態度を育てる
 (3) 資料名：祖父の元気のもと 【出典】 中学校 心の元気Ⅱ(広島県教育委員会)
 (4) 学習の展開

	展開の視点と発問	生徒の活動と予想される生徒の反応	留意点・評価・準備
導 入	<p>1. 内容への興味付け</p> <p>○みなさんが職場体験で出会った人は、なぜ働いていると言っておられたか？</p>	<p>(1)職場体験で聞いた話を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族を守るため。 ・地域社会に貢献するため。 ・仕事を通して接する人が、喜んでくれるのが生きがいになっているため。 	<p>※ 職場体験学習で聞き取った働くことの意義を、今回の学習へとつなげる。</p> <p>※ 今日の授業のキーワードは「人はなぜ働くのか」とすることを伝える。</p>
展 開	<p>2. 自分の価値観の明確化</p> <p>●定年が60才なら、「将来」とは60才までのことだろうか？</p> <p>○資料の中のおじいさんは、なぜ働いているのでしょうか？</p> <p>3. 価値を深く捉えさせる。</p> <p>◎「美咲よ・・・」の後におじいさんが言いたかったのはどんなことだろう。続きの台詞を考えてみよう。</p> <p>●あなたは、そのような経験がありますか？</p> <p>○美咲は「おじいちゃんは何で働いている」と思ったでしょう？</p> <p>●おじいさんは、なぜ他の人とかわり続けたいのだろうか？</p>	<p>(2)資料前段を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わりじゃない。 ・第二の人生がある。 <p>(3) おじいさんはなぜ働いているのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少しでも収入を得たい。 ・人の役に立ちたい。 ・自分にとっての喜びになっている。 <p>(4)祖父が言いたかったことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金のためだけに働いているのではない。 ・人から喜んでもらうと自分が元気になる。 ・仕事は自分にとっての生きがい。 <p>(5)資料後段を読んで、美咲の感じたことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな仕事をする事で他の人にも元気を与えられる。 ・生きがいが生まれることによって、自分が元気になる。 	<p>△資料①</p> <p>※ 資料の内容を考慮して、仕事は定年までという既成概念を取り払って考えるようにさせる。</p> <p>△ワークシート</p> <p>※ 全員の意見を聴き取り、そう思った理由も発表させる。</p> <p>※ 働くことによって、収入以外に得られるものを考えさせる。</p> <p>△資料②</p> <p>※ 人の役に立つことが自分にとっても元気がでることに気づかせる。</p>
ま と め	<p>4. 道徳性の高まりの評価</p> <p>●この人はなぜ働いているのでしょうか？</p> <p>○「何のために働くか」をテーマに今日の授業で考えたことを書いてみよう。</p>	<p>(6)紹介された身近な人物の働く姿を思い出す。</p> <p>(7)授業の感想を書く。</p>	<p>※ ○○先生の生き方から学ばせる</p> <p>△ワークシート</p> <p>☆ 道徳性の高まりを評価する。</p>

◎中心発問 ○主発問 ●補助発問

※留意点, ☆評価, △準備物

「祖父の元気のもと」(中学校 心の元気Ⅱ 広島県教育委員会)

資料①

私の祖父は、会社を定年で退職した後、もともと好きだった植木の手入れについて講習を受け、シルバーセンターで働いている。仕事は頼まれたときだけ、というものの、一番暑いお盆前や、逆に一番寒いお正月前は特に依頼が多らしく、学校が休みの日も出かけていることもある。おじいちゃん子の私は、祖父のことが気がかりでしょうがない。

今日は日曜日なのに、朝から祖父の姿が見えない。

「おじいちゃん、今日も仕事に行ったの。」

私が聞くと、

「おじいちゃんね、働くことが大好きなんよ。それに、頼まれたら断れない性分でしょ。」と祖母は笑いながら言うが、私は、しんどい思いをしなくても、近所にはのんびり過ごしている人だって大勢いるのに、と祖父のあくせく働く姿をうとましく感じていた。

夕方、仕事を終えたとは思えないほど、元気に帰ってきた祖父に、私は、

「おじいちゃんおかえり。しんどくないの。」

と言うと、

「そりゃ、しんどい日もあるよ。特に、今日みたいに消毒をする日は身体にこたえるわ。それじゃが『きれいにしてくれて、ありがとうございます。また来てくださいね。』と言われたときは、疲れなんか吹っ飛ばんじゃ。」

「そんなこと言ったって、身体が大事でしょ。もっとラクすればいいのに。」

「おしは、働いとる時がしあわせなんよ。まだまだわしも、捨てたもんじゃないぞ。」

「でも、給料だってそんなに良くないんでしょ。もう知らない、おじいちゃんなんか。」

「美咲よ、・・・。」

私は、祖父の言葉をさえぎって部屋を出て行った。

資料②

数日後、私がひとりで留守番をしていると、電話がかかってきた。

「田中さんのお宅でしょうか。今日は大変お世話になりました。本当にありがとうございました。」

はじめ、何のことだか分からず、相手の話を聞いていた。祖父が今日、植木の手入れに行ったお宅からで、そのお宅には、足の悪いおばあさんが、昼間はひとりでおられるそう。最近特に、足が痛くて、お家の方も心配しながら出かけられたのだが、帰宅してみると、おばあさんがいつになく元気な様子らしい。どうも、そのおばあさんは、うちの祖父が、植木の手入れをしている姿を、窓越しにじっと見ておられたようで、一生懸命ていねいに、楽しそうに仕事をする姿に感激されたようだ。そして、仕事を終えた後、気を落としているおばあさんの話し相手になって、おばあさんがとても喜んでおられたらしい。本当にいい人に来てもらって、感謝している、ぜひまた来て欲しいということだった。

話を聞きながら、私はとても誇らしい気持ちになった。そして、どこかのお宅で、誠心誠意働いて、喜んでもらい、今日も元気いっぱい帰ってくる祖父の姿を思い浮かべると、何だか私も、じっとしてはいられない気がしてきた。